

2006年7月31日

HSBC ホールディングス PLC 2006年1-6月期決算－ハイライト

- 総営業収益は15%増の343億3,400万米ドル(2005年上半期は297億8,900万米ドル)

上半期：

- 純営業収益は14%増の282億9,500万米ドル(2005年上半期は247億5,200万米ドル)
- グループ税引前利益は18%増の125億1,700万米ドル(2005年上半期は106億4,000万米ドル)
- 親会社株主帰属利益は15%増の87億2,900万米ドル(2005年上半期は75億9,600万米ドル)
- 平均投下資本利益率 (ROIC) は17.2% (2005年上半期は16.5%)
- 普通株式1株当たり利益(基本ベース)は13%増の0.78米ドル(2005年上半期は0.69米ドル)

配当金と資本比率：

- 2006年第2中間期の1株当たり配当金は0.15米ドルで、すでに支払い済みの2006年第1中間期の1株当たり配当金0.15米ドルと合わせると、2005年第1及び第2中間期の配当金に比べ7%の増加
- Tier1資本比率は9.4%、総資本比率は13.4%

HSBC ホールディングスの税引前利益は 125 億 1,700 万米ドル

HSBC の税引前利益は 125 億 1,700 万米ドルと、2005 年上半期に比べ 18 億 7,700 万米ドル（18%）増加した。

純利息収益は 167 億 3,100 万米ドルと、2005 年上半期に比べ 14 億 1,500 万米ドル（9%）増加した。

貸出金減損その他の信用リスク引当金繰入前の純営業収益は 321 億 8,500 万米ドルと、2005 年上半期に比べ 41 億 5,600 万米ドル（15%）増加した。

営業費用は 161 億 3,900 万米ドルと、2005 年上半期に比べ 17 億 1,900 万米ドル（12%）増加した。基調的に見ると、恒常為替レートベースで、営業費用は 11%の増加となる。

HSBC のコスト効率比率は 2005 年上半期の 51.4%に比べ 50.1%となった。

2006 年上半期の貸出金減損その他の信用リスク引当金繰入額は 38 億 9,000 万米ドルと、2005 年上半期に比べ 6 億 1,300 万米ドル増加した。

2006 年 6 月 30 日現在のグループの Tier1 資本比率と総資本比率はそれぞれ 9.4%、13.4%と高水準を維持した。

2006 年 6 月 30 日現在のグループ総資産は 1 兆 7,380 億米ドルと、2005 年 12 月 31 日に比べ 2,360 億米ドル（16%）増加した。

地域別の営業成績

(百万米ドル)	2006年上半期		2005年上半期		2005年下半期	
		%		%		%
税引前利益						
欧州	3,600	28.8	2,886	27.2	3,470	33.6
香港	2,654	21.2	2,419	22.7	2,098	20.3
その他のアジア太平洋地域	1,657	13.2	1,280	12.0	1,294	12.5
北米	4,272	34.1	3,713	34.9	3,159	30.6
南米	334	2.7	342	3.2	305	3.0
	12,517	100.0	10,640	100.0	10,326	100.0
税金	(3,272)		(2,658)		(2,435)	
当期利益	9,245		7,982		7,891	
親会社株主帰属利益	8,729		7,596		7,485	
少数株主持分帰属利益	516		386		406	

カスタマー・グループ別の営業成績

(百万米ドル)	2006年上半期		2005年上半期		2005年下半期	
		%		%		%
税引前利益						
個人向け金融サービス事業	5,908	47.2	5,219	49.1	4,685	45.4
商業銀行事業	2,862	22.9	2,374	22.3	2,587	25.0
コーポレート／インベストメント・バンキング&マーケッツ事業	3,144	25.1	2,301	21.6	2,862	27.7
プライベート・バンキング事業	600	4.8	451	4.2	461	4.5
その他	3	-	295	2.8	(269)	(2.6)
合計	12,517	100.0	10,640	100.0	10,326	100.0

スティーブン・グリーン・グループ会長のご挨拶

HSBC は 2006 年上半期に、投資を行っている新規事業でも新興市場国の事業全般でも高水準の収益増を達成しました。同時に、成熟市場国の事業も好調を維持しました。さらに、当グループの戦略である、「Managing for Growth」に沿って、コストの増加を大幅に上回る収益の増加も達成しています。

2006 年上半期の株主帰属利益は 15%増の 87 億米ドルで過去最高を更新し、1 株当たり利益は 13%増の 0.78 米ドルとなりました。取締役会は第 2 中間期（4-6 月期）の 1 株当たり配当金として 0.15 米ドルを承認しています。この結果、2006 年の年初来の 1 株当たり配当金総額は 0.30 米ドル（前年同期に比べ 0.02 米ドル、率にして 7%の増加）となります。

収益は 45 億米ドルの増加、コストは 17 億米ドルの増加となりました。純営業収益の前年同期比伸び率は 14%でした。純営業収益の増加額が 2005 年上半期の増加額を 65%上回ったのは、「Managing for Growth」戦略を下支えするために実施している投資が成果を上げていることを雄弁に物語っています。この増加はほぼすべて内部的に達成されたものであり、2005 年と 2006 年に実施した買収の影響はわずかでした。

当グループのコスト効率比率は 50.1%へと改善しました。2006 年上半期のコストの増加額（多額の事業投資額を含む）は、2005 年上半期の増加額を 1 億米ドル下回りました。これは実質的にコーポレート／インベストメント&バンキング・マーケット事業戦略の大型投資局面が 2005 年に完了したことを反映したものです。

事業環境

世界の事業環境はおおむね良好であり、米国経済の安定と日本の復調が大半の国における金利上昇の引き締め効果とエネルギーコストの増大を相殺しています。

クレジット環境は総じて安定しており、企業の信用力は引き続き良好でした。個人の信用状態が悪化した国・地域でも他の個人向けポートフォリオのパフォーマンス改善により大部分は相殺されました。

世界の株式市場は期中の大半を通じて大幅に上昇し、投資フローの拡大と M&A（企業合併・買収）や IPO（新規株式公開）の受け入れ市場を後押ししました。

当グループの経営戦略の大きな柱と競争優位は世界各国事業の一体経営です。先進国における顧客基盤と新興国における事業能力との組み合わせが HSBC の中核的な競争力を生み出しており、今ではその潜在的可能性をこれまでも増して活かしています。また、成熟市場で開発した商品・サービスを急成長している新興市場に輸出する取り組みも継続しています。この結果、当グループの新興市場事業は、ブラジル、中国本土、インド、マレーシア、メキシコ、中東、フィリピンなど幅広い国々で税引前利益が 20%以上増加しました。さらに、企業や投資家が新興市場に強い関心を寄せていることも、HSBC が強みとする外国為替、カスタディ、資産運用、クロスボーダーのトランザクショナル／インベストメント・バンキングなどを活かす格好の機会となりました。

既存事業への投資は、新興市場や業界再編候補企業への関心が行き過ぎているように思われる近年では資本の最も魅力的な用途となっています。2006年上半期の当グループの株主持分利益率（ROE）は利益の改善に牽引され、18.1%へと上昇しました。資本比率も小幅上昇しました。

個人向け金融サービス事業における顧客サービス強化への投資

個人向け金融サービス事業では引き続き顧客基盤の拡大と顧客サービスの強化につながる分野への投資を行っています。

HSBCはお客様の将来のニーズに備えた態勢作りに取り組んでいます。20の国と地域において2万1,000人、6,000社を対象としたアンケートに基づく退職後の生活に関する世界的な大規模調査を刊行しました。退職という問題がお客様にとって重要性を増していく中、当グループでは高齢化社会における金融サービスのあるべき姿について企画検討を進めています。

既存サービスの一層の充実にも全力で取り組んでいます。英国では支店網をアップグレードする意欲的なプログラムをスタートさせました。これは、約7億1,500万ドルを投入する、単一の支店改装プログラムとしては近年最大規模のものです。お客様のニーズにさらに応えるよう、成績優秀店については営業時間も延長しています。

米国、メキシコ、トルコ、中国本土など、他の多くの国々でも改善プログラムをスタートさせています。米国では2005年末に新規のインターネット貯蓄商品の取り扱いも開始しました。この商品はこれまでに50億米ドルの預金を集め、当グループの資金調達基盤の多様化とブランドの可視性強化につながっています。

HSBCは成長の見込める国・地域で投資を行っています。したがって、例えば急成長しているメキシコでは、フロントオフィス、回収、クレジットカードの分野や小額融資、住宅ローン、投資商品などのセールスを中心に、2006年に1,700名の新規採用を行っています。

新興市場では新しい金融サービス、特に消費者金融への旺盛な需要が続いています。当グループはHSBCファイナンスの専門的ノウハウを活用してこの業務を推進しています。新興市場では消費者金融のパイロットブランチをインドに23店、インドネシアに4店設置しています。2006年にはチェコ共和国、アイルランド、ポーランド、スロバキアでも支店を開設しました。

商業銀行分野の事業拡大

いかなる国が経済発展する上でも中小企業（SME）は極めて重要な役割を果たします。この重要なセクターのお客様数は8%増の240万社に達しました。このうち100万社は今やインターネット・バンキング・サービスに登録しており、オンライン取引高は2.9%増加しました。

世界各地でその地域に根付いたローカルバンクとして、HSBCは多くのお客様と連携し、お客様のますます国際化するビジネスを当グループがサービスと収益力を改善するチャンスを見込める分野でサポートしています。例えば、HSBCは50ヶ国余りに配し

た 4,000 名のリレーションシップ・マネジャーをつなぐクロスボーダーの紹介システムの導入を完了しました。

HSBC はお客様のローカルニーズに応えていくことも目標としています。そうした多くの取り組みの例として、HSBC ビジネスダイレクト（英国での無料インターネット／テレホン・バンキング・サービス）、香港と英国での新型法人カード、スリランカの中小企業専従センター、ブラジル、インドネシア、中国の企業向け保険などが挙げられます。

コーポレート／インベストメント・バンキング&マーケッツ事業の成果

2006 年上半期にこの事業は構築局面から完全な実行体勢へと移行しました。投資総額が大幅に減少するとともに、さらに心強いことに、コスト増は主に収益増に伴う業績連動費用に限られました。

これがどのような結果をもたらすかは明らかです。税引前利益は 2005 年上半期に比べ 37%増加しました。2005 年上半期には、純営業収益が前年同期に比べほぼ横ばいであったのに対し、コストは約 6 億 5,000 万米ドルの増加でした。2006 年 1-6 月期には、純営業収益が 13 億 6,800 万米ドル増加したのに対し、コストは、業績連動給とグローバル・トランザクション・バンキングの取引額主導型ビジネスを中心に、4 億 2,900 万米ドルの増加でした。これは収益増がコスト増を 12%上回ったということです。

スチュワート・ガリバーの陣頭指揮により、この事業はグローバル・マーケッツ、グローバル・バンキング、グループ・インベストメント・ビジネス、グローバル・トランザクション・バンキングという 4 つの主要商品事業へと再編されました。

主要通貨のフラットな金利イールドカーブのバランスシート管理収益への影響が続いていることで、財務成績は引き続きある程度制約を受けていますが、セールス／トレーディング収益とトランザクショナル・バンキング収益が大幅に増加し、これを十二分に相殺しました。

グローバル・マーケッツ事業は 2006 年に全業務とも軒並み大幅に伸び、仕組みデリバティブ、ABS、株式／株式デリバティブ商品、債券業務などへのこれまでの投資が実を結びました。国際債券発行額に占める HSBC のシェアは世界第 4 位へと上昇しました。

欧州で期中に発表された大型ディール上位 5 件のうちの 4 件など、インベストメント・バンキングの大型ディール獲得件数も増やしました。これは、ファイナンス、ストラクチャリング、ヘッジング、アドバイスなどを適切に組み合わせて提供する HSBC の能力が強い競争力を発揮した結果です。

グループ・インベストメント・ビジネスも、新興市場ファンドの運用報酬急増と新興市場の運用資産増加に押し上げられ、広範な業務分野にわたり過去最高の業績を記録しました。

グローバル・トランザクション・バンキングも、主に新興市場の大幅な伸びと金利上昇環境の残高増大効果に牽引され、前期に続いて過去最高の業績を更新しました。

世界有数のプライベート・バンクの構築

当グループのプライベート・バンキング事業の変貌は、HSBCにとって最も大きな成功の1つとなっています。わずか2~3年で様々なグループ企業のプライベート・バンキング部門が富裕層のお客様向けサービスに特化したグローバルな組織へと集約されています。

プライベート・バンキング事業は2004年にHSBCプライベート・バンクへと改称されましたが、その成功を測る目安として2006年上半期の税引前利益がこの3年間で2倍以上の6億米ドルに達していることが挙げられます。

成功をもたらしているのは、オルタナティブ投資の分野を中心にお客様向けの商品ラインナップを充実させるとともに、住宅用不動産関連のアドバイス、信託、税務相談などの分野で資産家のお客様向けサービス能力をさらに強化していることです。

2006年上半期には、新規資金純流入額が186億米ドルに達したのを受け、預り資産は3,050億米ドルへと22%増加しました。HSBCはこの事業分野でも一体的な経営を強化しており、当グループ各社から紹介されたお客様の増加が新規資金の純流入に約29億米ドル寄与しました。英仏両国で事業地域を拡大していることや、最近新設したドバイとインドのオンショア拠点が良好なスタートを切ったことで更なる事業拡大への強固な土台が構築されています。

クレジット環境

総じて良好なクレジット環境は、堅調な世界景気の持続、主要国の安定的な雇用パターン、緩やかなインフレ圧力、潤沢な流動性などによるものであり、その結果、資産価格—特に住宅用不動産価格—は高止まりしています。

ただ、特に米国では住宅用不動産市場に鈍化の兆しが出ています。将来の値上がりへのその影響や金利見直し日を迎える変動金利型住宅ローンへの金利上昇の影響が重荷となる債務者も出てくるでしょう。米国の個人向け貸付金総額は2006年上半期に堅調に推移しましたが、最近実施した住宅ローンについては一部のセグメントがいくぶん悪化し始めており、その影響の軽減策を講じています。

英国では、主に破産申請と自己破産の増加により、無担保の個人向け貸付金部門がまたしてもこの期の減損費用の大半を占めました。減損費用は2005年上半期を大幅に上回ったものの、2005年下半期とほぼ同じ水準です。より最近実施した無担保の個人向け貸付金については信用力が改善しています。

過度の消費者債務はますます社会問題化しています。銀行もこの問題に対して取り組む責任があるといえます。HSBCはプラスの信用情報の共有を実現した英国初の大手銀行であり、英国における無担保貸付の市場シェアを慎重に引き下げています。

2006年上半期には、新興国、先進国を問わず、多くの国で公共政策の介入が見られました。一部の国のように意図せぬ影響が出ないようにしつつ、支援を必要とする個人的に絞った条例を整備していくことは明らかに万人の利益となります。

展望

世界経済は引き続き堅調です。中国は急ピッチの成長を続け、巨額の投資フローを惹き付けるとともに、世界の輸出業者に巨大なチャンスをもたらしています。

2006 年上半期に米 FRB は利上げを継続し、他の多くの国の中央銀行もこの動きに追随しました。消費者にとってエネルギー価格は大幅に上昇しています。インフレ懸念はくすぶっていますが、賃金やインフレ期待が大幅に上昇した兆候は出ていません。しかし、HSBC は引き続きこれらの要因が住宅市場の鈍化とあいまって経済成長の足を引っ張る可能性があると考えています。

WTO ドーハ・ラウンド交渉が明らかに頓挫していることには失望を禁じえません。総合的に見て、貿易自由化は人々の経済厚生と密接に関係する経済開発を促すと HSBC は考えています。本来進むべき方向とは逆に世界より保護主義的な貿易体制へと向かっているのではないかと憂慮しています。

いずれにしても、HSBC は今後も世界経済の変容を最大限活かすことのできる態勢作りを進めていく方針です。当グループは世界中に他社の追随を許さない事業基盤を構築しています。お客様は 200 ヶ国以上にわたり優に 1 億人を超え、事業拠点は 76 ヶ国に広がっています。事業の分散・多様化と強固な資本基盤は HSBC の決定的な強みです。

当グループは、ビジネスチャンスが生じれば機動的にそのチャンスを捉える万全の態勢を整えていると確信しています。現に、今月初めには中米の代表的な銀行グループ、グループ・バニストモを取得することで合意したと発表しました。この買収は、パナマにおける事業基盤を強化するとともに、コスタリカ、ホンジュラス、コロンビア、ニカラグア、エルサルバドルへの事業拡大につながるものです。

HSBC は金融サービス業界のナンバーワンブランドを目指しています。顧客サービスは今後もこの目標を実現する主な原動力となるだけに、HSBC としては引き続き顧客サービスの一層のクオリティ改善に全力を尽くす所存です。この点ではテクノロジーがますます重要な役割を果たすでしょう。

しかし、本来、銀行業は人間によるビジネスであり、事業成功の最前線に立つのは何と云っても人材です。28 万人の社員を擁していることは HSBC の経営戦略を実施していく上で極めて重要な要素です。HSBC の自社株保有制度は加入者が 10 万人を優に超えています。自社株を保有している社員がこれほど多い企業は世界でもごくわずかです。世界中の優秀な社員とその献身的な努力により、HSBC は社員、お客様、株主の皆様のために必ずや成功を手にする事ができるものと確信しております。

※本資料は 2006 年 7 月 31 日付け HSBC Holdings 中期決算報告書の抜粋です。

2005年 上半期 百万米ドル	2005年 下半期 百万米ドル	半期	2006年上半期		
			百万米ドル	百万ポンド	百万香港ドル
		半期			
10,640	10,326	税引前利益	12,517	6,997	97,107
7,596	7,485	親会社株主帰属利益	8,729	4,880	67,720
4,575	3,175	配当金	5,263	2,942	40,830
		期末			
86,713	92,432	総株主持分	101,381	54,949	787,426
101,722	105,449	自己資本総額	116,636	63,217	905,912
		顧客勘定および銀行預り			
812,211	809,146	金	916,881	496,949	7,121,415
1,466,810	1,501,970	総資産	1,738,138	942,071	13,500,118
794,834	827,164	リスク加重資産	872,893	473,108	6,779,760

米ドル	米ドル	普通株式1株当たり	米ドル	ポンド	香港ドル
0.69	0.67	利益（基本ベース）	0.78	0.44	6.05
0.68	0.67	利益（希薄化後ベース）	0.77	0.43	5.97
0.41	0.28	配当金 [†]	0.46	0.26	3.57
7.73	8.03	期末現在の純資産	8.71	4.72	67.65

株式情報

112億2,200万	113億3,400万	0.50米ドル：発行済普通株式	114億8,100万		
1,790億米ドル	1,820億米ドル	時価総額	2,020億米ドル		
8.90ポンド	9.33ポンド	株価（終値）	9.52ポンド		
			1年超	3年超	5年超
		2006年6月30日までの総株主リターン ^{††}	112.2	154.7	145.0
		ベンチマーク：FTSE100	118.0	160.3	122.0
		MSCIワールド	117.5	161.9	135.2

[†] 2006年第2中間期の1株当たり配当金0.15米ドルは2006年6月30日の為替レートで換算。配当金は必要に応じて2006年9月25日の為替レートでポンドもしくは香港ドルに転換される。

^{††} 総株主リターン (TSR) は「2005年年次報告書および財務諸表」の220ページで定義されている。

2005年上半期	2005年下半期	半期	2006年上半期
財務比率 (%)			
16.5	15.3	平均投下資本利益率 [†]	17.2
17.6	16.1	平均総株主持分利益率	18.1
1.18	0.95	税引後平均総資産利益率	1.12
2.09	1.93	税引後平均リスク加重資産利益率	2.21
効率比率および収益構成比率 (%)			
51.4	51.0	コスト効率比率	50.1
総営業収益に対する：			
51.4	50.2	- 純利息収益比率	48.7
23.6	23.2	- 純手数料収益比率	24.4
9.7	9.3	- 純トレーディング収益比率	12.4
資本比率 (%)			
8.7	9.0	- Tier1資本比率	9.4
12.8	12.8	- 総資本比率	13.4

[†] 投下資本利益率は普通株主帰属利益に基づいている。平均投下資本は、平均総株主持分+引当金に
じかに戻し入れた償却済み営業権—HSBCホールディングスの平均発行済み優先株— / (+) 実効的
なキャッシュフロー・ヘッジと売却可能有価証券に係る平均未実現利益 / (損失) 準備金として計
測される。この計測は当初の投下資本とその後の利益を反映したものである。

2005年 上半期 百万 米ドル	2005年 下半期 百万 米ドル	半期	2006年上半期		
			百万 米ドル	百万 ポンド	百万 香港ドル
29,202	30,892	受取利息	35,785	20,004	277,620
(13,886)	(14,874)	支払利息	(19,054)	(10,651)	(147,821)
15,316	16,018	純利息収益	16,731	9,353	129,799
8,558	8,928	受取手数料	10,441	5,837	81,001
(1,514)	(1,516)	支払手数料	(2,061)	(1,152)	(15,989)
7,044	7,412	純手数料収益	8,380	4,685	65,012
1,804	1,852	純利息収益を除くトレーディング収益	3,112	1,740	24,143
1,087	1,121	トレーディング業務に係る純利息収益	1,149	642	8,914
2,891	2,973	純トレーディング収益	4,261	2,382	33,057
		公正価額で表示されている金融商品か らの純収益	260	145	2,017
547	487	金融投資からの利益（損失控除後）	493	276	3,825
354	338	受取配当金	222	124	1,722
95	60	純既経過保険料	2,834	1,584	21,986
2,396	3,040	その他の営業収益	1,153	645	8,945
1,146	1,587	営業収益合計	34,334	19,194	266,363
29,789	31,915	純既発生保険金および保険契約者債務 の変動	(2,149)	(1,201)	(16,672)
(1,760)	(2,307)	貸出金減損費用およびその他の信用リ スク引当金前純営業収益	32,185	17,993	249,691
28,029	29,608	貸出金減損費用およびその他の信用リ スク引当金	(3,890)	(2,175)	(30,179)
(3,277)	(4,524)	純営業収益	28,295	15,818	219,512
24,752	25,084	人件費	(8,992)	(5,027)	(69,760)
(7,869)	(8,276)	一般管理費	(6,065)	(3,390)	(47,052)
(5,444)	(5,739)	有形固定資産償却	(748)	(418)	(5,803)
(831)	(801)	無形資産償却	(334)	(187)	(2,591)
(276)	(278)	営業費用合計	(16,139)	(9,022)	(125,206)
(14,420)	(15,094)	営業利益	12,156	6,796	94,306
10,332	9,990	関連会社および合弁会社からの利益分 配金	361	202	2,801
308	336	税引前利益	12,517	6,998	97,107
10,640	10,326	税金	(3,272)	(1,829)	(25,384)
(2,658)	(2,435)	当期利益	9,245	5,169	71,723
7,982	7,891	親会社株主帰属利益	8,729	4,880	67,720
7,596	7,485	少数株主持分帰属利益	516	289	4,003
386	406				

2005年6月 30日現在	2005年12 月31日現 在 百万 米ドル		2006年6月30日現在		
			百万 米ドル	百万 ポンド	百万 香港ドル
資産					
8,905	13,712	現金および中央銀行預け金	24,343	13,194	189,072
11,717	11,300	受取為替	12,425	6,734	96,505
12,196	12,554	香港政庁債務証券	12,588	6,823	97,774
165,159	190,257	トレーディング資産	226,650	122,844	1,760,391
		契約相手方により転質または転売可能			
50,142	42,652	なトレーディング資産	72,645	39,374	564,234
14,033	15,046	公正価額で表示されている金融資産	16,855	9,135	130,913
63,594	73,928	デリバティブ	104,665	56,728	812,933
155,141	125,965	銀行貸付金	162,482	88,065	1,261,998
706,724	740,002	顧客貸付金	814,209	441,301	6,323,961
179,574	176,301	金融投資	187,438	101,591	1,455,831
		契約相手方により転質または転売可能			
9,113	6,041	な金融投資	4,896	2,654	38,027
5,067	7,249	関連会社および合弁会社持分	7,795	4,225	60,544
32,500	33,200	営業権および無形資産	34,544	18,723	268,303
15,032	15,206	有形固定資産	15,277	8,280	118,656
26,765	26,596	その他の資産	27,542	14,929	213,916
11,148	11,961	前払金および未収収益	13,784	7,471	107,060
<u>1,466,810</u>	<u>1,501,970</u>	資産合計	<u>1,738,138</u>	<u>942,071</u>	<u>13,500,118</u>

2005年6月 30日現在 百万米 ドル	2005年12 月31日現 在 百万米 ドル		2006年6月30日現在		
			百万米 ドル	百万 ポンド	百万 香港ドル
負債および自己資本					
負債					
12,196	12,554	香港流通紙幣	12,588	6,823	97,774
101,747	69,727	銀行預り金	83,139	45,061	645,741
710,464	739,419	顧客勘定	833,742	451,888	6,475,674
9,533	7,022	支払為替	9,532	5,166	74,035
162,459	174,365	トレーディング負債	228,116	123,639	1,771,777
58,420	61,829	公正価額で表示されている金融負債	64,354	34,880	499,838
62,101	74,036	デリバティブ	103,660	56,184	805,127
184,483	188,072	社債	209,309	113,445	1,625,703
5,727	4,869	退職給付債務	3,722	2,017	28,909
26,169	26,515	その他の負債	31,669	17,165	245,969
12,428	14,144	保険契約債務	15,663	8,489	121,655
10,421	12,689	未払費用および繰延収益	12,584	6,821	97,740
3,329	1,966	引当金	2,286	1,239	17,755
15,652	16,537	劣後負債	20,404	11,059	158,478
<u>1,375,129</u>	<u>1,403,744</u>	負債合計	<u>1,630,768</u>	<u>883,876</u>	<u>12,666,175</u>
自己資本					
5,610	5,667	資本金	5,741	3,112	44,590
4,952	6,896	株式発行差金勘定	7,236	3,922	56,202
25,000	23,646	その他の準備金	26,394	14,306	205,002
51,151	56,223	留保利益	62,010	33,609	481,632
86,713	92,432	株主持分合計	101,381	54,949	787,426
4,968	5,794	少数株主持分	5,989	3,246	46,517
91,681	98,226	自己資本合計	107,370	58,195	833,943
<u>1,466,810</u>	<u>1,501,970</u>	自己資本および負債合計	<u>1,738,138</u>	<u>942,071</u>	<u>13,500,118</u>

2005年 上半期 百万米ドル	2005年 下半期 百万米ドル	半期	2006年 上半期 百万米ドル
		売却可能投資：	
70	(470)	－持分に計上される公正価値損失	(476)
(103)	(137)	－処分または減損時に損益計算書に振り替えられる公正価値利益	(319)
		キャッシュフロー・ヘッジ	
(293)	201	－持分に計上される公正価値変動	147
-	(106)	－損益計算書に振り替えられる公正価値変動	(177)
68	93	関連会社および合弁会社の持分変動シェア	(44)
(3,665)	(592)	為替差額	3,203
358	(1,170)	退職給付関連の保険数理差利益（損失）	1,477
(3,565)	(2,181)		3,811
(125)	562	直接的に持分に計上される項目関連の純繰延税金	(196)
(3,690)	(1,619)	当期に持分に計上される収益費用総額	3,615
7,982	7,891	当期利益	9,245
4,292	6,272	以下に帰属する当期総認識収益費用	12,860
		－親会社株主	12,292
4,056	5,856	－少数株主持分	568
236	416		12,860
4,292	6,272		

	2006年 上半期 百万米ドル	2005年 上半期 百万米ドル	2005年 下半期 百万米ドル
営業活動によるキャッシュフロー			
税引前利益	12,517	10,640	10,326
<i>調整項目:</i>			
税引前利益に含まれるキャッシュ以外の項目	762	1,022	336
営業資産の変動	(101,775)	(61,792)	(20,918)
営業負債の変動	135,226	57,777	13,156
為替差額消去	(7,000)	7,089	(4,774)
投資活動からの純利得	(752)	(354)	(338)
関連会社および合弁会社の利益シェア	(361)	(308)	(336)
関連会社から受領した配当金	32	57	57
税金	(1,983)	(1,811)	(2,808)
営業活動による（に使用された）純キャッシュ	<u>36,666</u>	<u>12,320</u>	<u>(5,299)</u>
投資活動によるキャッシュフロー			
財務投資購入	(181,454)	(91,507)	(286,596)
財務投資売却手取金	177,762	82,562	286,134
有形固定資産購入	(803)	(1,227)	(1,660)
有形固定資産売却手取金	915	340	280
無形資産購入	(352)	(90)	(759)
子会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(5)	-	(1,662)
子会社売却による純キャッシュ流入	23	566	139
関連会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(208)	(682)	(1,887)
関連会社売却手取金	319	161	261
投資活動に使用された純キャッシュ	<u>(3,803)</u>	<u>(9,877)</u>	<u>(5,750)</u>
財務活動によるキャッシュフロー			
普通株式資本の発行	414	94	596
優先株式の発行	374	-	1,298
値付け目的による自社株式の純購入および売却	(78)	27	(82)
株式報奨およびストックオプション報奨のための自社株式の購入	(589)	(288)	(478)
株式報奨の権利確定およびオプション権利行使による自社株式の譲渡	137	65	212
劣後ローン資本の発行	3,716	1,928	165
劣後ローン資本の返済	(273)	(896)	(225)
親会社株主への配当金	(3,202)	(4,197)	(1,738)
少数株主持分への配当金	(533)	(419)	(89)
財務活動に使用された純キャッシュ	<u>(34)</u>	<u>(3,686)</u>	<u>(341)</u>
現金および現金同等資産の純増加（減少）	32,829	(1,243)	(11,390)
期首現在の現金および現金同等資産	141,307	160,956	152,925
現金および現金同等資産に関する為替差額	4,490	(6,788)	(228)
期末現在の現金および現金同等資産	<u>178,626</u>	<u>152,925</u>	<u>141,307</u>